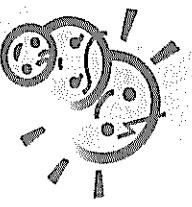


# よみうり子育て応援団@大阪



「よみうり子育て応援団@大阪」が6月15日、大阪市中央区大阪府立男女共同参画・青少年センター「ドーンセンター」で、「じいじばあばと一緒に子育て」をテーマに開かれた。恵泉女学園大教授の大日向雅美さん、女性ライフサイエンス研究所の津村薫さん、NPO法人恵泉女学園大教授の恵泉女学園大教授。専門は発達心理学。子育てひろば「あい・ほ」と「と」施設長を務める。62歳。

事前に寄せられた相談や会場からの質問をもとに意見を交わした。参加者は「育児を大切に」といった助言に耳を傾けた。

## 「子育ての違い、対応は」



**大日向雅美さん**  
孫育てというより親助け  
恵泉女学園大教授。専門は発達心理学。子育てひろば「あい・ほ」と「と」施設長を務める。62歳。

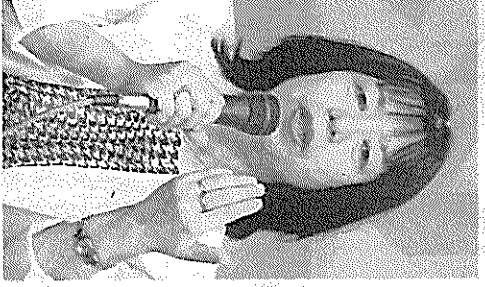
相談 1歳の子どもを祖  
母に預けると、勝手にスナ  
ック菓子を与えられ、「飯  
の権利も責任も親にあり、  
祖父は孫を育てたいと思  
い、あれこれ文を言われ  
たら祖母も方寸を失う  
ので、危険なと外は  
目をつぶる必要があるの  
は。一方で、祖父側は親  
の子育てに疑問を抱いて  
も、見守ってほしい。子ど  
もが1歳なら、親も1歳  
失敗を経験しながら親と  
して育っている。

古く保 育児の主体は  
親。祖父は孫を預かった  
ら、その日の出来事を報告  
し、親は預ける前に子ども  
の様子を伝えるといった日  
常のコミュニケーションが  
必要だ。特に若い頃、多忙で  
子育てに参加できなかった  
祖父は育児の知識が少ない  
ので、わからないことは学  
び、孫の面倒を手伝うこと  
を周りに伝える。私も8月  
に生まれる孫の保育所の迎

**講師のアトバイス**  
育児の主体は親  
にある。祖母は  
踏み込む。日頃の  
話し守る。大切に。  
話を大切にする。

# たくささんの手で愛情注ごう

## じいじばあばと一緒に子育て



**津村薫さん**  
親の子育て見守って  
女性ライフサイエンス研究所講師。子育て支援などのチームで講演や研修、執筆活動を行う。1女の母。50歳。



**古久保俊嗣さん**  
双方の祖父母で分担  
NPO法人エカリテ大手前代  
表。祖父のための孫育て認定資格「ソフリエ」を広げる。59歳。

## 「手助けはどこまで」

相談 昨年に孫が生ま  
れ、娘の子育てを手伝っ  
て、娘の育児を見るのは  
多い。孫とはいえ、  
会が多い。孫とはいえ、  
なにより元気で、育ち盛りの  
津村 シニア世代がど  
んなに元気で、育ち盛りの  
子どもの面倒を見るのは  
大変。短い時間や親も一  
緒にやる。住む孫を抱っこして  
いるときに慣れることか  
ら始める。大きく緊張した  
り、あつちが分る。祖父母に  
とって孫はかわいから  
いって、預かってもらっ  
た。親側には無理のない  
範囲で、ものごとがわら  
なくて戸を預かってほし  
いという気遣い、地域の子  
育て支援に必要だし、祖父  
母も半ばに参加してみるの  
もいい。

## 大東めぐみさん



**大東めぐみさん**  
適切な距離感探そう  
テレビの情報を番組など  
で活躍。子育てや環境、省エネに  
関する講演も行う。2男の母。41歳。

「子育てを交えた講師の話に聞き入る参加者」大西健次撮影



**講師のアトバイス**  
孫の面倒を見せ  
ること、親孝行と  
は思わず、体力面  
や精神面に気遣い  
を。

古く保 祖母は特に娘の  
子どもだと、協力して当然  
と思われがちだが、一人だ  
けでは体力的に大変で、責  
任が重すぎる。ソリエの  
ような祖父や夫側の祖父母  
も加わって分担すれば、負  
担も減る。孫と離れて暮ら  
す祖父母の場合、インタ  
ネットを使ったテレビ電話  
「スカイ」などの利用を  
薦める。子どもがいらない  
人から愛情のシャワーを浴  
びて育つ環境づくりに役立  
つと思う。